

表 6・1 平成 28 年度事業報告 (その 1)

| 事業の名称および事業の概要   | 参加者数<br>総数(学生数)   |
|---|---|
| <p>公1・編集出版事業</p> <p>有機合成化学協会誌</p> <p>第 74 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 5,600 部(除く第 11 号)、6,000 部(第 11 号)、総頁数 1,394 普通号 10 回; 特集号(第 5 号「有機合成化学とケミカルバイオロジーの接点」; 第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容: 巻頭言 12 頁(12 件)、総説 24(2)、総合論文 776(71)、Review de Debut 24(12)、ラウンジ 12(2)、ケミカルズ覚え書き 12(3)、十字路 11(44)、新しい合成 56(222)、会告・協会記事等 270、広告 165 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2016 年度分を掲載。</p> <p>単行本の編集・出版</p> <p>特になし</p> <p>公1 関連会議</p> <p>有機合成化学協会誌編集委員会(1/28, 3/17, 5/27, 7/8, 9/30,11/25)</p>   |   |
| <p>公2・研究会事業</p> <p>シンポジウム【本部】</p> <p>第 109 回有機合成シンポジウム; 6/8～6/9<br/>東京工業大学デジタル多目的ホール/コラボレーションルーム<br/>- 受賞講演(2 件) -<br/>1. 【平成 27 年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)受賞講演】<br/>高選択的連続ハロゲン金属交換反応を特徴とする SGLT2 阻害剤トログリフロジンの効率的合成法の確立 (中外製薬) 村形政利<br/>2. 【企業冠受賞講演: 日産化学・有機合成新反応/手法賞】<br/>触媒的プロパルギル位置換反応の開発と不斉反応への展開 (東大院工) 西林仁昭<br/>口頭研究発表 36 件; ポスター発表 33 件 合計 69 件<br/>共催: 日本化学会; 日本薬学会; 日本農芸化学会</p> <p>第 110 回有機合成シンポジウム; 11/10～11/11; 早稲田大学国際会議場<br/>受賞講演 1 件、特別講演 1 件<br/>1. 【平成 27 年度有機合成化学協会賞(技術的なもの)受賞講演】<br/>選択的 SGLT2 阻害剤ルセオグリフロジンの創製 (大正製薬) 柿沼浩行<br/>2. 【特別講演】<br/><math>\alpha, \beta</math>-不飽和カルベン活性種の簡便な発生法とその利用 (東工大理) 岩澤伸治<br/>口頭・ポスター発表 34 件; ポスター発表 16 件 合計 50 件<br/>共催: 日本化学会; 日本薬学会; 日本農芸化学会</p> <p>第 49 回酸化反応討論会; 11/12～11/13; 徳島大学常三島キャンパス(徳島市)<br/>招待講演 2 件、一般口頭発表 17 件、ポスター発表 41 件<br/>主催・共催: 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p> <p>第 46 回複素環討論会; 9/26～9/28; 金沢歌劇座(金沢市)<br/>一般口頭発表 62 件、ポスター発表 126 件<br/>主催・共催: 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p> <p>第 49 回有機金属若手の会・夏の学校; 7/11～7/13; 東海大学妻恋高原研修センター(群馬県)<br/>招待講演 3 件、依頼講演 7 件、若手講演 3 件、ポスター発表 103 件<br/>主催: 近畿化学協会有機金属部会</p> <p>シンポジウム【北海道支部】</p> <p>第 28 回万有札幌シンポジウム; 7/2; 北海道大学<br/>1. 有機反応の系統的な理解と設計に向けた反応経路自動探索法の開発 (北大院理) 前田 理<br/>2. 超ポリフィリンの化学 (京大院理) 大須賀篤弘<br/>3. 多官能性天然物郡の骨格多様化合物 (東京農工大院工) 大栗博毅<br/>4. 生物活性天然物の機能解明を志向した実践的合成研究 (徳島大院医歯薬) 難波康祐<br/>5. A RaPID discovery to pseudo-natural peptides for therapeutic uses (東大院理) 菅裕 明</p> | <p>256(136)</p> <p>209(95)</p> <p>133(69)</p> <p>454(199)</p> <p>206(188)</p> <p>380(280)</p> |

表 6・2 平成 28 年度事業報告 (その 2)

| 事業の名称および事業の概要   | 参加者数<br>総数(学生数) |
|---|-----------------|
| <p>前ページからの続き<br/>6. Salt-free Reduction of Metal Complexes for Generating Catalytically Active Species<br/>(阪大院基礎工) 真島和志<br/>以上の 6 名の演者による講演と 23 件のポスター発表<br/>主催：万有札幌シンポジウム組織委員会<br/>共催：北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、日本化学会北海道支部</p>  |                 |
| <p>日本化学会北海道支部 2016 年 夏季研究発表会；7/23；室蘭工業大学<br/>特別講演 2 件<br/>1. 固体塩基としての酸化マグネシウム (北海道教育大学函館校) 松橋博美<br/>2. 分子技術 (日本化学会会長・中大総合研究所) 山本 尚<br/>一般講演 117 件<br/>主催：日本化学会北海道支部<br/>共催：日本分析化学会・高分子学会・触媒学会・日本エネルギー学会・石油学会の各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部</p>  | 213(133)        |
| <p>第 33 回有機合成化学セミナー特別企画「ニセコ有機合成プレセミナー」；9/5；ヒルトンニセコビレッジ<br/>1. パラジウム触媒による <i>o</i>-プロモベンジルアルコールの環化反応を利用した多環芳香族炭化水素の合成<br/>(岡山大基礎研) 岩崎真之<br/>2. ベンズジイン等価体を利用する縮合複素環化合物の収束合成 (阪大院薬) 増田茂明<br/>3. Development of oxidative Heck reaction for derivatizing complex molecules and reactivity study of heteroarenes (九大院薬) Amrita DAS<br/>4. ロジウム触媒を用いたケチミンに対する直接的触媒的不斉アルキル化反応の開発<br/>(九大院薬) 米寄凌平<br/>5. パトラコトキシン類縁体の合成と電位依存性ナトリウムチャネルとの相互作用解析<br/>(名大院創薬) 藤間達哉<br/>以上の 5 名の演者による講演</p>   | 67(28)          |
| <p>第 33 回有機合成化学セミナー；9/6～9/8；ヒルトンニセコビレッジ<br/>1. 動的かつ剛直ならせん高分子をプラットフォームとするキラル触媒創製 (京大院工) 杉野目道紀<br/>2. 動物内での合成化学：生体内合成化学治療 (理研) 田中克典<br/>3. 活性酸素産生阻害 Tetomilast の探索・基礎研究 (大塚製薬創薬化学研究所) 千尋正利<br/>4. New Avenues in Synthesis via Organic Photoredox Catalysis<br/>(University of North Carolina) David Nicewicz<br/>5. 炭素-炭素結合形成反応を基盤とする含フッ素化合物の立体および位置選択的合成法の開発<br/>(東工大物質理工) 相川光介<br/>6. スマネンを基盤とするポウル型<math>\pi</math>共役系分子の合成と機能 (阪大院工) 雨夜徹<br/>7. 革新的な物質活性化法を駆使した新しい触媒的分子変換法の開発 (慶大理工) 河内卓彌<br/>8. 有機ニトロキシラジカルの酸化還元特性を利用した効率的酸化システムの開発<br/>(名大院創薬科学) 澁谷正俊<br/>9. Iron-Catalyzed C-H Bond Activation (東大院理) Ilies Laurean<br/>10. 医薬品のプロセス化学への誘い (日本プロセス化学会会長・同志社女子大) 富岡清<br/>11. The Functionalization of C-H Bonds (Univ. Illinois Urbana-Champaign) M. C. White<br/>12. 北里発の微生物由来天然物の合成と創薬展開 (北里大生命研) 砂塚敏明<br/>13. 生命機能解明をめざしたプローブ分子の創製 (理研) 袖岡幹子<br/>14. ロジウムとアレンの組み合わせを基軸とする新規環構築法 (金沢大院医薬保) 向 智里<br/>15. 有機硫黄化学のルネッサンスから芳香環リフォームへの展開 (京大院理) 依光英樹<br/>以上の 15 名の演者による講演と 86 件のポスター発表<br/>主催：有機合成化学協会北海道支部；共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会<br/>後援：文部科学省科学研究費助成事業新学術領域研究 ◇「高難度物質変換反応の開発を指向した精密制御反応場の創出」；◇「反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製」</p> | 248(118)        |

表 6・3 平成 28 年度事業報告 (その 3)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数) |
|--|-----------------|
| <p>若手研究者のための有機化学札幌セミナー；11/29；北海道大学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機ラジカルを用いた化学選択的タンパク質変換法の開発 (東大院薬) 生長幸之助</li> <li>2. 糖質代謝酵素を活用した糖質の合成 (北大院農) 佐分利 亘</li> <li>3. 結晶スポンジ法の開発と最近の展開 (北大院工) 猪熊泰英</li> <li>4. リボソーム合成と翻訳後修飾によるペプチド化合物の生合成 (北大院理) 尾崎太郎</li> <li>5. 海綿動物由来生物活性物質の探索と生合成研究 (北大院薬) 脇本敏幸</li> </ol> <p>以上の 5 名の演者による講演<br/>主催：有機合成化学協会北海道支部；共催：有機合成化学協会</p>   | 235(190)        |
| シンポジウム【東北支部】   |                 |
| <p>第 27 回記念万有仙台シンポジウム；6/25；仙台国際センター</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機合成の視点で挑む高分子合成 (京大化研) 山子 茂</li> <li>2. 糖タンパク質の精密化学合成を利用する糖鎖機能の解明 (阪大院理) 梶原康宏</li> <li>3. ヘリセンオリゴマーの可逆的な非平衡系-平衡系化学反応 (東北大院薬) 山口雅彦</li> <li>4. すべては全合成から始まる (早大理工研) 竜田邦明</li> <li>5. 21 世紀の繁栄を支える遷移金属触媒 Transition Metal Catalysts Support 21st Century Prosperity (パデュー大学) 根岸英一</li> </ol>   | 388(315)        |
| <p>仙台地区春の講演会；5/28；東北大学大学院薬学研究科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ジアステレオ選択的ケタール化反応の応用：やっと終わった Trichodermatide A の不斉全合成」(武蔵野大学) 廣谷 功</li> <li>2. 「AJIPHASE<sup>®</sup>;ペプチド・オリゴ核酸の実用的液相合成技術」(味の素株式会社) 片山 智</li> <li>3. 「小分子による RNA の構造と機能制御」(阪大) 中谷和彦</li> </ol>  | 147(112)        |
| <p>化学系学協会東北大会；9/10～9/11；いわき明星大学</p> <p>【特別講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「環境負荷低減を実現するポリグリコール酸(PGA)の開発とエネルギー用途展開」(クレハ総研)佐藤浩幸</li> <li>2. 「Chem-Station が拓く化学教育の未来」(Chem-Station 代表, 早大) 山口潤一郎</li> </ol> <p>【会長講演】</p> <p>「分子技術」(日本化学会会長、中部大教授、シカゴ大学・名大名誉教授) 山本 尚</p> <p>【有機系講演】</p> <p>有機化学セッション</p> <p>「Synthesis and photophysical properties of environmentally sensitive fluorescent purine nucleosides」(日大工) 齋藤義雄</p> <p>「Development of molecular imaging probes constructed of small molecules, proteins, and nanomaterials」(東北大多元研) 水上 進</p> <p>「Carbon-rich active materials with macrocyclic nanochannels for high-capacity negative electrodes in all-solid-state lithium rechargeable battery」(東北大 WPI-AIMR) 佐藤宗太</p> <p>「芳香族脱プロトン化 C-H 修飾反応の触媒システム開発」(東北大院薬) 根東義則</p> <p>有機化学コロキウム</p> <p>「芳香族分子の特性を活かした動的反応空間を基盤とする機能性分子触媒開発」(東理大工) 今堀龍志</p> <p>「新規 C-H 結合直接変換反応を用いた縮合多環式π共役骨格の構築」(東北大 WPI-AIMR) 金 鉄男</p> <p>「準安定構造から観たπ電子系分子集合体の構造と機能」(千葉大院工) 矢貝史樹</p> <p>「含窒素芳香環構造の新規構築法の開発とアルカロイド全合成への応用」(東北大院薬) 徳山英利</p> <p>その他講演 48 件、ポスター発表 234 件</p> <p>主催・共催：日本化学会；高分子学会；日本分析化学会；化学工学会；電気化学会；日本材料学会の各東北支部；繊維学会東北北海道支部；無機マテリアル学会北部支部</p> | 487(283)        |
| <p>福島地区講演会；7/7；日本大学工学部</p> <p>「DNA 構造を基盤とした機能性色素分子の組織化制御と発光センサーへの応用」(兵庫県立大学) 高田忠雄</p> <p>「生命現象を理解するための糖質材料の開発」(日本大学) 小林厚志</p>  | 58(52)          |

表 6・4 平成 28 年度事業報告 (その 4)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数) |
|--|-----------------|
| <p>第 31 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー ; 11/26 ; 東北大学大学院薬学研究科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「オキソアンモニウム塩の新奇反応性の発見と 1,3-シクロアルカジエン類合成への展開」<br/>(東北大院薬) 長澤翔太</li> <li>「多様なケイ素π電子系化合物合成のための新戦略」(東北大院理) 赤坂直彦</li> <li>「含ハロゲンフェネチルアミンの Pd 触媒 C(sp<sup>2</sup>)-H 結合選択的アミノカルボニ化」(東北大院薬) 種田 宏</li> <li>「プレンステッド塩基触媒による[1,2]-Phospha-Brook 転位を利用したホモエノラト等価体の発生法の開発」(東北大院理) 青木拓磨</li> <li>「脱水縮合剤を用いる無保護 1,2-アンヒドロ糖の直接合成と酵素的グリコシル化反応」<br/>(東北大院工) 芹澤一成</li> <li>「アミン類の直接的 N-アルキル化反応における触媒反応系の開発」(山形大院理工) 皆川真規</li> <li>「非天然トリアゾール連結部を用いたタンパク質翻訳用 mRNA の開発研究」(東北大院理) 鈴木 建</li> <li>「芳香族・複素環エーテルのロジウム触媒的フッ素化反応」(東北大院薬) 谷井沙織</li> <li>「パラジウム触媒によるアリルカルバメートの転位を利用したγ-アミノ-α,β-不飽和エステルの合成」<br/>(東北大院理) 鎌田悠仁</li> <li>「アリルパラジウム中間体を求核剤として用いるアルデヒドの分子内不斉アリル化反応」<br/>(東北大院薬) 川瀬 歩</li> <li>「プロスタグランジン類の合成研究」(東北大院理) 坂本大輔</li> </ol> | 193(159)        |
| シンポジウム【関東支部】   |                 |
| <p>有機合成化学ミニシンポジウム① ; 4/15 ; 東京理科大学(神楽坂キャンパス)</p> <p>ナノポーラス金属触媒を用いるグリーンな有機合成反応<br/>(東北大原子分子材料科学高等研究機構) 山本嘉則</p>   | 134(81)         |
| <p>有機合成化学ミニシンポジウム② ; 6/25 ; 東海大学(湘南キャンパス)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>イオン液体を固定相に用いた新規反応場の開発 (東海大理) 小口真一</li> <li>有機分子触媒を用いた不斉反応の開発 (東京薬大薬) 三浦 剛</li> <li>遷移金属触媒反応による含フッ素化合物の合成 (理研) 袖岡幹子</li> </ol>   | 102(89)         |
| <p>有機合成化学ミニシンポジウム③ ; 11/4 ; 千葉大学(西千葉キャンパス)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>医薬品開発におけるプロセス化学の役割 (中外製薬) 加藤昌宏</li> <li>有機分子触媒を用いる不斉ハロゲン化反応 (静岡県立大薬) 濱島義隆</li> <li>遷移金属触媒を用いるカルボキシル化反応の開発 (東工大理) 岩澤伸治</li> </ol>   | 100(77)         |
| <p>有機合成化学ミニシンポジウム④ ; 10/29 ; 工学院大(八王子キャンパス)</p> <p>講演 4 件、プレバント 1 件</p> <p>プレバント(学生発表) (工学院大院工) 阪田優希</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>アシルシランの光異性化反応を利用する合成化学 (学習院大理) 草間博之</li> <li>ピロール-イミダゾール系天然物の合成研究 (東京農工大院工) 長澤和夫</li> <li>多段階有機合成の研究 : II-型ポリケチド生合成経路に魅せられて (東工大理) 鈴木啓介</li> <li>Catalyzed Nazarov and Nazarov-type Cyclizations<br/>(Univ. of Hawaii at Manoa) Marcus A. Tius</li> </ol> <p>共催 : 工学院大学生体分子システムセンター</p>  | 114(96)         |
| <p>第 71 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(農工大シンポジウム) ; 5/14</p> <p>東京農工大学小金井キャンパス</p> <p>特別講演 2 件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理論計算と化学合成の融合による反応開発と物質創製 (東大院薬) 内山真伸</li> <li>タキソールの合成研究 (慶大理工) 千田憲孝</li> </ol> <p>一般研究発表 81 件</p> <p>共催 : 日本化学会 ; 日本薬学会</p>  | 319(223)        |

表 6・5 平成 28 年度事業報告 (その 5)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数) |
|--|-----------------|
| <p>第 72 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) ; 11/26~11/27<br/>新潟薬科大学(新津駅東キャンパス)<br/>特別講演 3 件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然な眠りを誘う不眠症治療薬ロゼレムの創製 (武田薬品工業) 内川 治</li> <li>2. 糖タンパク質の精密化学合成を利用する糖鎖機能解明 (阪大院理) 梶原康宏</li> <li>3. 潜在的対称性に注目した生理活性天然物の全合成 (静岡県立大薬) 菅 敏幸</li> </ol> <p>一般研究講演 79 件<br/>共催 : 日本化学会 ; 日本薬学会</p>  | 238(146)        |
| <p>若手研究者のためのセミナー ; 7/30 ; 東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂<br/>講演 6 件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実用的なペルフルオロアルキル化反応の開発 (理研) 河村伸太郎</li> <li>2. 多様な天然炭素資源を活用した有用化成品原料を獲得するワンポット変換反応の開拓 (東工大物質理工) 山口 渉</li> <li>3. NHC 触媒を用いる速度論的光学分割及びモノアシル化反応の開発 (千葉大院理) 鎌野 哲</li> <li>4. ボロキシン形成反応を利用したかご状分子の創製と DMAP との会合挙動 (東京理大理) 小野公輔</li> <li>5. 修飾シクロペンタジエニルジウム触媒の創成とその特性を活かした炭素-水素結合官能基化反応の開発 (東工大物質理工) 柴田 祐</li> <li>6. リアノダンジテルペンの網羅的全合成 (東大院薬) 長友優典</li> </ol>   | 76(58)          |
| シンポジウム【東海支部】   |                 |
| <p>有機合成セミナー ; 6/11 ; 静岡県立大学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ポリプロピオネートの新規合成戦略 (早大理工) 細川誠二郎</li> <li>2. 水銀トリフラート触媒による環化異性化反応を鍵工程としたレバジホルミン類の全合成 (阪市大院理) 森本善樹</li> <li>3. 生物活性天然物の合成研究 -キラルプール法によるアプローチ- (慶大理工) 千田憲孝</li> <li>4. 北里発の天然物合成研究 (北里大生命科学研) 砂塚敏明</li> </ol>   | 81(72)          |
| <p>若手研究者のためのセミナー ; 7/21 ; 三重大学<br/>【支部奨励賞受賞講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毒性ガス等価体を用いる実用性指向型有機合成反応の開発 (静岡県立大薬) 小西英之</li> <li>2. 力量ある新規フェナントリン不斉配位子を利用する金属触媒反応の多角的研究 (名大院工) 永縄友規</li> <li>3. 新規 2 型糖尿病治療薬トグリフロジン初期プロセス合成法の開発 (中外製薬) 大竹義仁</li> </ol> <p>【招待講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有機反応の立体化学を触媒で自在に制御する (名大院工) 石原一彰</li> <li>2. 化学 - 分子と社会を結ぶ架け橋 (東大院理) 中村栄一</li> </ol>  | 53(41)          |
| <p>第 47 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会 ; 11/5~11/6 ; 豊橋技術科学大学<br/>【特別討論会】<br/>&lt;依頼講演&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キラルピンスー型錯体触媒の合成と不斉反応への応用 (名大院工) 伊藤淳一</li> <li>2. 新規合成ブロックの創製を基盤とする多環式天然物合成 (名市大院薬) 中村精一</li> <li>3. 炭素 - ハロゲン結合の立体選択的な形成および切断反応 (豊橋技科大院工) 柴富一孝</li> </ol> <p>&lt;招待講演&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金属協奏反応場の効率設計による分子変換法の開発 (金沢大院工) 宇梶 裕</li> <li>2. らせん超構造を生み出すコンパクトな有機分子 (千葉大院工) 岸川圭希</li> </ol> <p>共催 : 日本化学会、高分子学会、化学工学会、日本農芸化学会、日本油化学、日本薬学会など</p> | 529(307)        |

表 6・6 平成 28 年度事業報告 (その 6)

| 事業の名称および事業の概要   | 参加者数<br>総数(学生数) |
|---|-----------------|
| <p>総合講演会；12/17；岐阜大学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 製薬企業における新薬開発(中外製薬の低分子および抗体医薬の創薬研究)<br/>(中外製薬) 森川一実</li> <li>2. 反応集積化と中分子複合糖質合成 (阪大院理) 深瀬浩一</li> <li>3. ケイ素－水素結合を起点とする炭素－水素結合のケイ素化反応：研究の展開<br/>(岡山大院自然科学) 高井和彦</li> </ol>  | 80(65)          |
| シンポジウム【関西支部】  |                 |
| <p>有機合成化学北陸セミナー；10/7～10/8；石川県青少年総合研修センター<br/>【特別講演 3 件】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. つる巻き状分子不斉の創出 (神戸大院工) 森 敦紀</li> <li>2. 分子ひずみの付加と解消を利用する有機合成 (京大院薬) 高須清誠</li> <li>3. 日本触媒の機能性材料 (日本触媒) 住田康隆</li> </ol> <p>一般研究発表 11 件、ポスター発表 66 件<br/>共催：日本化学会、日本薬学会、金沢大学超然プロジェクト、金沢大学先魁プロジェクト</p>  | 179(143)        |
| <p>第 36 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」；8/9；京都薬科大学本校地</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 固体状態で高効率発光する分子の発見、設計と応用 (京工織大分子化学) 清水正毅</li> <li>2. 銅触媒を用いた求電子的アミノ化：“マイナス”を“プラス”にしたら何ができるのか？ (阪大院工) 平野康次</li> <li>3. ベンザインを実験化学と理論化学の両面から斬る！ (阪大院薬) 井川貴詞</li> <li>4. 炭素－炭素二重結合の窒素官能基化反応の開発 (阪大院工) 南方聖司</li> <li>5. Amenity・Health Creative Product 創製への挑戦－アンチエイジングスキンケア素材と化粧品－<br/>(ナールスコーポレーション/元 JAPIC) 松本和男</li> <li>6. いくつかの天然物の全合成と、それにまつわる話 (京都薬大) 上西潤一</li> </ol> <p>ポスター発表 89 件<br/>共催：日本薬学会</p>   | 229(164)        |
| シンポジウム【中国・四国支部】   |                 |
| <p>若手研究者のためのセミナー(第 32 回若手化学者のための化学道場)；8/25～8/26；にぎたつ会館；世話人：林 実</p> <p>【特別指南講演】<br/>私達は何を間違え、何を発見出したのか (九大先導研) 友岡克彦</p> <p>【師範講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『擬似分子内反応』の概念を用いた新規な合成手法の開発 (高知工科大環境理工) 西脇永敏</li> <li>2. 劇的な反応加速効果と高エナンチオ選択性を示す不斉求核触媒の創製 (岡山大院自然) 萬代大樹</li> <li>3. 新規骨髄腫治療剤を指向した天然マクロライドの全合成研究 (徳島大院医歯薬) 中山 淳</li> <li>4. 超強酸 HF・BF<sub>3</sub> を用いた芳香族化学品の製造 (三菱ガス化学) 松浦 豊</li> <li>5. 高活性な固定化触媒システムの開発 (理研) 山田陽一</li> <li>6. アゾベンゼン集合体：光異性化と蛍光 (鳥取大院工) 韓 旻娥</li> <li>7. N-Heteroacene 骨格を基盤とした新規機能性材料の開発 (香川大工) 磯田恭佑</li> <li>8. ピロールを含む新しいπ電子共役系化合物の開発 (愛媛大院理工) 高瀬雅祥</li> <li>9. まだまだ見つかるポルフィリノイドの異常反応性：新奇なπ電子骨格を目指して<br/>(島根大院総合理工) 鈴木優章</li> <li>10. リボソーム膜内への有機π分子の導入と膜中での化学反応 (広島大院工) 池田篤志</li> </ol> <p>ポスター発表：42 件</p> | 129(102)        |
| シンポジウム【九州・山口支部】   |                 |
| <p>第 28 回若手研究者のためのセミナー；8/27；九州大学伊都キャンパス</p> <p>特別講演：1 件<br/>招待講演：1 件<br/>受賞講演(ポスター賞)；企業紹介；ポスター発表；世話人：内田竜也(九大基幹教育)</p>   | 97(53)          |

表 6・7 平成 28 年度事業報告 (その 7)

| 事業の名称および事業の概要   | 参加者数<br>総数(学生数) |
|---|-----------------|
| 講習会【本部】   |                 |
| <p>有機合成化学講習会(前期) ; 6/15~6/16 ; 長井記念館長井記念ホール<br/>                     テーマ : 有機合成化学が生み出す新世界—反応開発からもの創りまで—<br/>                     1. 理論計算と合成化学の融合による反応開発・機能創出 (東大院薬/理研) 内山真伸<br/>                     2. ニッケルと不飽和化合物だけで組み上げる有機合成 (阪大院工) 生越専介<br/>                     ※ランチョンセミナー ◇日本電子、◇ロックウッドリチウムジャパン<br/>                     3. ペプチド化学を基盤とする中分子創薬への展開—低分子薬 Plinabulin から抗体薬物複合体(ADC)創薬への展開— (東京薬大薬) 林 良雄<br/>                     4. 新規カリウム競合型アシッドブロッカー ボノブラザンフマル酸(タケキャブ®)の創製—究極の酸分泌抑制薬を目指して— (武田薬品工業) 西田晴行<br/>                     5. 含中員環天然物の合成化学 (早大先進理工) 中田雅久<br/>                     6. 不斉触媒酸化反応 (中部大総工研分子性触媒研究センター) 山本 尚<br/>                     7. キラルプレステッド酸触媒を用いた不斉合成 : どこまで使いこなせるか? (東北大院理) 寺田眞浩<br/>                     8. 安全・簡便・短工程有機合成を指向した Pd 触媒反応 (静岡県立大薬) 眞鍋 敬<br/>                     9. フッ素化学基幹原料を用いる新しい分子変換反応 (旭硝子) 森澤義富<br/>                     10. FGFR(Fibroblast Growth Factor Receptor)阻害剤 CH5183284/Debio 1347 の創製 (中外製薬) 海老池啓達<br/>                     11. 生細胞有機化学によるタンパク質その場解析の分子技術 (京大院工) 濱地 格<br/>                     12. 分子世界と実世界を結ぶ化学 (東大総括プロジェクト機構/院理) 中村栄一<br/>                     共催 : 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p> | 109(2)          |
| <p>有機合成化学講習会(後期) ; 11/16~11/17 ; 長井記念館長井記念ホール<br/>                     テーマ : 天然物合成と、もの創りの新手法開発<br/>                     1. 天然物合成を指向した合成法の開発 (慶大理工) 高尾賢一<br/>                     2. 高度縮環構造をもつ天然物の合成研究 (名大院創薬科学) 横島 聡<br/>                     ※ランチョンセミナー ◇和光純薬工業<br/>                     3. ヌクレオシド系天然物の全合成 (北大院薬創薬科学研究教育センター) 市川 聡<br/>                     4. グアニジン系天然物の合成 (名大院生命農) 西川俊夫<br/>                     5. 低分子医薬品の時代は終わったのか? — 合成化学者の未来は? — (ペプチドリーム) 舩屋圭一<br/>                     6. 潜在的対称性に注目した生理活性天然物の全合成 (静岡県立大薬) 菅 敏幸<br/>                     7. 希土類触媒を用いた有機合成の新展開 (理研) 侯 召民<br/>                     8. フォトレドックス触媒が拓く新合成戦略 : 基礎から最近の反応例まで (東工大化学生命科学研) 小池隆司<br/>                     9. 有機イオン触媒の設計と合成化学への応用 (名大院工) 大井貴史<br/>                     10. 古くて新しい病気『結核』への挑戦—多剤耐性肺結核治療薬デラマニドの研究— (大塚製薬) 佐々木博文<br/>                     11. ペプチド・オリゴ核酸の新規な効率的合成法 AJIPHASE® の開発と応用 (味の素) 高橋大輔<br/>                     12. 協働金属触媒による有機合成反応 (京大院工) 中尾佳亮<br/>                     共催 : 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会</p>   | 109(2)          |
| 講習会【関西支部】   |                 |
| <p>有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2016」 ; 2/2~2/3 ; 大阪科学技術センター<br/>                     1. フロン 23(フルオロホルム)を用いたフッ素化合物の合成 (名工大院工) 柴田哲男<br/>                     2. アルケンの立体化学を制御する—P と S と Si の化学 (岐阜大工) 安藤香織<br/>                     3. ジハロプロペン殺虫剤ピリダリルの創製およびその展開 (住友化学) 池上 宏<br/>                     4. 不活性結合の変換を可能にする触媒反応 (阪大院工) 鳶巢 守<br/>                     5. フラッシュケミストリー フラスコではできない有機合成をめざして (京大院工) 吉田潤一<br/>                     6. フロキサンによる一酸化窒素のターゲティングをめざして (神戸大院理) 松原亮介<br/>                     7. 水素原子・ハロゲン原子が創り出す不斉空間・不斉反応 (分子研) 榎山儀恵<br/>                     8. デヒドロアミノ酸の立体制御と天然物全合成への展開 (阪市大院理) 品田哲郎</p>   | 167(78)         |

表 6・8 平成 28 年度事業報告 (その 8)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数) |
|--|-----------------|
| <p>前ページからの続き</p> <p>9. 人の未来を変える「ものづくり」の原点は人・アイデア・化学～メデイナルケミストリーによるイノベーションの事例～ (大日本住友製薬)中平博之</p> <p>10. 有機合成の視点から挑むペロブスカイト型太陽電池の高効率化 (京大化研) 若宮淳志</p> <p>11. 非交互系・非ベンゼン系芳香族炭化水素の化学の新たな発展 (阪大院基礎工) 戸部義人</p> <p>共催：日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会、近畿化学協会</p>  |                 |
| <p>有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/30～8/31；大阪科学技術センター</p> <p>1. 合金ナノクラスター触媒の化学－現代の錬金術－ (阪大院工) 櫻井英博</p> <p>2. ポルフィリン金属錯体をルイス酸触媒として用いる有機合成反応 (京大院工) 倉橋拓也</p> <p>3. 結合切断反応が拓く新しい分子合成技術の開発 (早大理工) 山口潤一郎</p> <p>4. 共有結合型プロテアーゼ阻害剤のデザインと効率的な合成法の開拓 (小野薬品) 今川 昭</p> <p>5. 天然物の骨格を多様化する迅速合成プロセスの開発 (東京農工大院工) 大栗博毅</p> <p>6. ケイ素-水素結合を起点とする炭素-水素結合のケイ素化:研究の展開 (岡山大院自然科) 高井和彦</p> <p>7. 有機硫黄化学のルネッサンスから芳香環リフォームへの展開 (京大院理) 依光英樹</p> <p>8. 水稲用除草剤「メタゾスルロン」の創製研究 (日産化学) 中屋潔彦</p> <p>9. 軽量化に貢献するナイロンの進化～分子制御から成形法まで (ユニチカ) 上田一恵</p> <p>10. 大村天然物の可能性を引き出す有機合成化学の醍醐味 (北里大北里生命科研) 砂塚敏明</p> <p>11. らせん高分子・超分子を用いた不斉識別材料、不斉合成触媒の開発 (名大院工) 八島栄次</p> <p>共催：日本化学会；日本農芸化学会；日本薬学会；近畿化学協会</p> | 112(40)         |
| 懇談会【本部】  |                 |
| <p>2016 新春特別フォーラム；1/14；化学会館・山の上ホテル (本館)</p> <p>※講演の部 「世界に飛躍する日本の科学技術―産学の明日を考える―」</p> <p>1. 新たな顧客価値創造に向けた三井化学の取り組みと有機合成 (三井化学) 諫山 滋</p> <p>2. 日本医療研究開発機構のミッションと展望 (日本医療研究開発機構) 末松 誠</p> <p>※賀詞交換会</p> <p>共催：有機合成化学協会関東支部</p>  | 136(0)          |
| <p>有機合成化学懇談会；12/3；化学会館</p> <p>企業の若手研究者と交流・討論できる、学生のためのセミナー(第 3 弾)</p> <p>(1) パネラー紹介</p> <p>1. 意外に知られていない(?!)プロセス化学の奥深さ (中外製薬) 永瀬正弘</p> <p>2. 東ソーの有機材料開発 (東ソー)井上貴弘</p> <p>3. 自己紹介と業務紹介～創薬化学研究者の仕事～ (帝人ファーマ) 鎌田大史</p> <p>4. 農薬プロセス研究 15 年 (住友化学) 広田将司</p> <p>5. 受託企業での有機合成研究～私たちの仕事～ (富士フィルムファインケミカルズ) ゲン・チュン・タン</p> <p>6. 日々の業務紹介と入社してからの 8 年間 (エーザイ) 福山 尚</p> <p>7. 高砂香料における有機合成化学 (高砂香料工業) 青木邦衛</p> <p>(2) ブース形式懇談会</p>   | 56(56)          |
| 懇談会【関東支部】  |                 |
| <p>第 14 回有機合成化学談話会(湯河原セミナー)；9/23～9/24；和光純薬工業(株)湯河原研修所</p> <p>講演 4 件</p> <p>1. 糖化学からの展開：切断機構の解明からバイオ医薬品へ (理研) 眞鍋史乃</p> <p>2. フェニテピック創薬でファースト・イン・クラス薬剤を創製する～世界初の S1P 受容体アゴニストと BRD 阻害薬の創製～ (田辺三菱製薬) 安達邦知</p> <p>3. Medicinal chemistry for Drug Discovery (武田薬品) 山田昌美</p> <p>4. 企業と大学における創薬化学―受容体に教えられた立体化学― (帝京大薬) 夏苺英昭</p> <p>【ショートレクチャー】&amp;【ポスターセッション】5 件</p> <p>1. ベンゾマルピン類の軸不斉に基づく立体化学 (帝京大薬) ○荒木拓嗣、田畑英嗣、忍足鉄太、高橋秀依、夏苺英昭</p>   | 22(4)           |

表 6・9 平成 28 年度事業報告 (その 9)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数) |
|--|-----------------|
| <p>前ページからの続き</p> <p>2. <i>N</i>-carbamoyl-5H-dibenz[b,f]azepine の 4 位置換基によるコンホメーションの制御<br/>(帝京大薬) ○金瀬薫、北田岳史、喜田次郎、田畑英嗣、忍足鉄太、夏苺英昭、高橋秀依</p> <p>3. グアニン四重鎖構造の安定化を志向したポリオキサゾール型低分子化合物の合成研究<br/>(東京農工大院工) ○佐々木捷悟、佐久間麻衣、馬悦、長澤和夫</p> <p>4. Arenicolide A の合成研究<br/>(工学院大先進工) ○岩田大昌、砂川晶、内藤美菜子、安井英子、宮下正昭、南雲紳史</p> <p>5. 有機合成化学で見いだすシナプス受容体リガンド<br/>(横浜市立大院生命ナノシステム) ○及川雅人、千葉まなみ、板垣ひより、石川裕一</p> |                 |
| 懇談会【東海支部】  |                 |
| <p>Prof. Naresh Kumar 訪日学者講演会 ; 1/26 ; 岐阜大学<br/>Bio-inspired synthesis of novel biologically active scaffolds based on flavones and isoflavones (University of New South Wales, Australia) Prof. Naresh Kumar</p>  | 26(21)          |
| <p>Prof. Dominique Cahard 訪日学者講演会 ; 4/8 ; 名古屋工業大学<br/>Asymmetric Transfer Hydrogenation (ATH) of Prostereogenic Trifluoromethylated Imines, Enones, Ketones, and 1,3-Diketones (Université de Rouen, France) Prof. Dominique Cahard</p>  | 16(9)           |
| <p>Prof. Zhenlei Song 訪日学者講演会 ; 4/21 ; 名古屋大学<br/>Exploration of Versatile Geminal Bis(silane) Chemistry (West China School of Pharmacy, Sichuan University, China) Prof. Zhenlei Song</p>  | 86(72)          |
| <p>Prof. Scott E. Denmark 訪日学者講演会 ; 5/23 ; 名古屋大学<br/>Development of Enantioselective Catalysis through Chemoinformatics (University of Illinois at Urbana-Champaign, U.S.A.) Prof. Scott E. Denmark</p>  | 97(85)          |
| <p>Prof. Shaokui Cao 訪日学者講演会 ; 5/24 ; 三重大学<br/>FROM CHEMISTRY TO MATERIALS -Rational Design and Construction of Functional Materials with Complicated Structure (School of Materials Science &amp; Engineering Zhengzhou University, P. R. China) Prof. Shaokui Cao</p>  | 49(41)          |
| <p>Assoc. Prof. Mohamed E. Khalifa 訪日学者講演会 ; 6/29 ; 岐阜大学<br/>An Overview of Novel Heterocycles Containing Sulphur and/or Nitrogen Atoms: Synthesis, Characterization and Valuable Applications (Chemistry Department, Faculty of Science, Taif University, Saudi Arabia) Assoc. Prof. Mohamed E. Khalifa</p>   | 26(21)          |
| <p>Kazunori Koide(小出和則), Ph.D. 訪日学者講演会 ; 7/26 ; 岐阜薬科大学<br/>Palladium Catalysis: Chemosensors, Mechanistic Studies, and Bioorthogonal Chemistry (Associate Professor Department Chemistry, University of Pittsburgh, Pittsburgh, PA, USA) Kazunori Koide(小出和則), Ph.D.</p>   | 30(6)           |
| <p>Dr. Rong-Jie Chein 訪日学者講演会 ; 10/5 ; 名古屋大学<br/>1. Development of <i>ortho</i>-Directed Methodogy<br/>2. Chiral Tetrahydrothiophene Ligands in Asymmetric Catalysis<br/>(Institute of Chemistry, Academia Sinica, Taipei, Taiwan R.O.C.) Dr. Rong-Jie Chein</p>   | 67(58)          |
| <p>Prof. David Vacic 訪日学者講演会 ; 10/6 ; 名古屋工業大学<br/>Organometallic Aspects of Fluoroalkylation Reactions (David Vacic, Professor and Chair Department of Chemistry, Lehigh University, U.S.A.) Prof. David Vacic, Pf and Chair</p>   | 27(16)          |
| <p>Prof. Dr. Zhu-Jun YAO 訪日学者講演会 ; 11/25 ; 名古屋大学<br/>Discoveries through Total Synthesis of Natural Hybrid Chlorofusin (Nanjing University, China) Prof. Dr. Zhu-Jun YAO</p>   | 68(59)          |

表 6・10 平成 28 年度事業報告 (その 10)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数) |
|--|-----------------|
| 懇談会【関西支部】  |                 |
| 有機合成新春講演会；1/20；大阪科学技術センター<br>1. ヘテロ原子の特性を活用した有機合成反応（神戸薬大）宮田興子<br>2. 炭素－炭素結合形成のための新方法論（阪府大院理）柳 日馨<br>3. オリゴピロールの合成研究：特異な構造と機能を求めて（神戸大院理）瀬恒潤一郎<br>共催：近畿化学協会  | 112(32)         |
| セミナー“化学千一夜「あすの化学への夢を語ろう」；6/17～6/18；中野 BC(株)／花王(株)有田研修所<br>1. 地域資源を活用した中野 BC(株)のものづくり（中野 BC）我藤伸樹<br>2. 見学会 中野 BC(株)〔梅酒蔵ほか〕<br>3. “堅いパーツから柔らかいシステムを組み上げる” 弱い分子間相互作用が生み出す多様な分子集合体とその性質（阪大院工）焼山佑美<br>4. 薬理作用を有する複素環化合物の基本骨格合成法の開発研究<br>放談会「千一夜、四つの物語」（1.千一夜物語/シエラザード；2.セレンディップの三人の王子；3.ある女性化学者の言葉；4. 夜空に輝く星をつかめ！）（東北大院薬）長 秀連<br>5. 含硫黄芳香族複素環化合物を用いた機能性材料の合成～らせん分子と平面分子～（和歌山大シス工）大須賀秀次<br>6. 環境にやさしい物づくり！～香料ヘリオフレッシュ®の開発～（宇部興産）吉田佳弘<br>7. 不飽和化合物をうまいこと官能基化する（京大院工）辻 康之<br>共催：日本化学会、近畿化学協会 | 37(6)           |
| 懇談会【中国・四国支部】   |                 |
| 第 73 回パネル討論会「有機分子触媒の精密設計に基づく高度分子変換」(第 1 回幹事会・懇話会合同会議)；5/21；岡山大学；世話人：坂倉 彰<br>1. 有機分子触媒としてのフラビン分子の可能性（徳島大院理工）今田泰嗣<br>2. 水素結合を活用した触媒設計と不斉合成反応（京大院薬）竹本佳司   | 125(81)         |
| 第 74 回パネル討論会「次世代を切り拓く全合成研究の若い力」；10/1；徳島大学；世話人：難波康祐<br>1. アミド変換反応の開発と天然物合成の効率化（慶大院理工）佐藤隆章<br>2. 有機合成化学を基盤とした生物活性天然物の構造解明（岡山大院自然）高村浩由<br>3. N-S アシル基転移反応を基盤としたタンパク質完全化学合成法の開拓（徳島大院医歯薬・JST さきがけ）重永 章<br>4. 含窒素多環式天然物の合成研究（名大院創薬）横島 聡  | 117(88)         |
| 来日学者講演会；5/19；愛媛大学；世話人：宇野英満<br>Enzymatic Halogenation (Bielefeld University, Germany) Norbert Sewald  | 35(30)          |
| 来日学者講演会；5/20；広島大学；世話人：大下浄治<br>Synthesis of Cytotoxic Drug Conjugates for Targeted Delivery<br>(Bielefeld University, Germany) Norbert Sewald   | 24(19)          |
| 来日学者講演会；5/21；岡山大学；世話人：依馬 正<br>1. Lithium or Nickel in Carbometallation: Make Your Choice<br>(Rouen-Normandy University, France) Muriel Durandetti<br>2. Synthesis of Fluorescent or Bioactive Azaphilones<br>(Rouen-Normandy University, France) Xavier Franck   | 125(81)         |
| 来日学者講演会；8/8；岡山大学；世話人：西原康師<br>Iron-Catalyzed Oxidative Reactions of Aldehydes with Alkenes<br>(Renmin University of China, China) Zhiping Li  | 23(16)          |
| 第 13 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム・第 8 回日露セミナー；12/10～12/11；広島大学<br>世話人：相田美砂子(ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会)<br>口頭発表：30 件<br>主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会  | 80(56)          |

表 6・11 平成 28 年度事業報告 (その 11)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>総数(学生数)   |
|--|-------------------|
| 懇談会【九州・山口支部】   |                   |
| 第 53 回化学関連支部合同九州大会；7/2；北九州国際会議場(北九州市)<br>化学関係九州支部(共催)；担当：日本分析化学会九州支部<br>特別講演 1 件；招待講演 8 件；ポスター発表   | 約 700<br>有機合成 115 |
| 第 1 回有機合成化学講演会；4/22；九州大学馬出キャンパスコラポステーション<br>招待講演 3 件；世話人：谷文都(九大先導研)  | 56(20)            |
| 外国人特別講演会；7/13；九州工業大学戸畑キャンパス<br>Prof. Jean-Paul. Desaulniers；担当：岡内辰夫  | 34(30)            |
| 外国人特別講演会；10/24；九州大学筑紫キャンパス<br>Synthesis of Chiral Nitrogen-Containing Compounds via Rh-Catalyzed Asymmetric Transformations (Prof. Hsyueh-Liang Wu)；担当：友岡克彦 (九大先導研)  | 81(66)            |
| 見学会 今年度は実施せず   |                   |
| 公 2 関連会議   |                   |
| 有機合成化学協会事業委員会(3/7,5/12,7/7,9/29,11/30)<br>平成 28 年度(秋季)有機合成化学講習会企画委員会；5/12<br>平成 29 年度(春季)有機合成化学講習会企画委員会；11/11<br>第 109 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；3/7<br>第 110 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；7/7  |                   |
| 公 3. 表彰事業  | 担当機関              |
| 有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)  |                   |
| 理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票  | 理事会               |
| 理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/5；化学会館<br>● 園頭健吉(大阪市立大学名誉教授)<br>業績：遷移金属アセチリド錯体の研究と共役アセチレン合成触媒の開発<br>表彰式・受賞講演(平成 29.2/16)   | 賞選考<br>委員会        |
| 有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：2 件；奨励賞：5 件採択)  |                   |
| 各支部推薦委員会；～7 月  |                   |
| 奨励賞書面審査；7 月；郵便   |                   |
| 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/4～10/5；化学会館   |                   |
| 有機合成化学協会賞(学術的なもの) 技術的なものは本年度該当なし<br>● 伊藤幸成(理化学研究所)<br>業績：複合糖質の機能解明をめざす高選択的・高効率合成法の開発<br>● 袖岡幹子(理化学研究所)<br>業績：遷移金属触媒反応の開発と含フッ素化合物合成への展開<br>有機合成化学奨励賞<br>● 岡野健太郎(神戸大学)<br>業績：新規合成方法論の開発を基盤とする含窒素高次縮環天然物の全合成<br>● 佐藤隆章(慶應義塾大学)<br>業績：反応性制御素子を用いたアミド変換反応の開発と応用<br>● 清水宗治(九州大学)<br>業績：フタロシアニンを基盤としたπ共役系の構築と機能発現<br>● 高橋大介(慶應義塾大学)<br>業績：糖質の精密合成・機能解析・機能制御分子の創製に関する研究<br>● 布施新一郎(東京工業大学)<br>業績：サイト選択的反応の開発と多官能基性化合物合成への展開<br>表彰式(平成 29.2/16)<br>受賞講演：協会賞(平成 29.2/16)<br>奨励賞(平成 29.9/12～14) | 賞選考<br>委員会        |

表 6・12 平成 28 年度事業報告 (その 12)

| 事業の名称および事業の概要  | 担当機関                |
|--|---------------------|
| Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)  |                     |
| <p>Mukaiyama Award 委員会 ; 2017 受賞者選考委員会 8/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中尾佳亮(京都大学)<br/>The development of novel reactions through C-H and C-C functionalization by cooperative metal catalysis.</li> <li>● Prof. Frank Glorius(Westfälische Wilhelms-Universität Münster)<br/>Diverse pioneering contributions with N-heterocyclic carbenes (in organocatalysis, transition metal catalysis and on-surface chemistry), in the field of C-H activation chemistry and in the development of smart screening methods.</li> </ul> <p>2015 年度受賞者の表彰式・受賞講演 ; 平成 27.9/16<br/>2016 年度受賞者の表彰式・受賞講演 ; 平成 28.9/6~8</p> | Mukaiyama Award 委員会 |
| Lectureship Award  |                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● Prof. David Nicewicz (University of North Carolina at Chapel Hill, U.S.A.)<br/>New Avenues in Synthesis via Organic Photoredox Catalysis</li> </ul> <p>表彰式・受賞講演 ; 平成 28.9/6~8</p>   | 北海道支部               |
| 企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 3 件採択)  |                     |
| <p>第一三共「創薬有機化学賞」書面審査(郵便 ; ~11/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大森 建(東京工業大学)<br/>業績 : 高次構造を有するフラボノイド系ポリフェノールの合成研究と機能開拓</li> </ul> <p>日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便 ; ~11/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 荒井孝義(千葉大学)<br/>業績 : 多様性窒素配位子-金属不斉触媒のテーラーメイド開発による複雑系キラル分子の創製</li> </ul> <p>富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便 ; ~11/30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伊藤 肇(北海道大学)<br/>業績 : 機械的刺激を感知する分子ドミノ相転移型発光性金錯体</li> </ul>   | 企業冠賞 選考委員会          |
| 高砂香料国際賞「野依賞」関連   |                     |
| <p>野依賞委員会 ; 選考委員会 8/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 丸岡啓二 (京都大学)<br/>Design of Chiral High-Performance Organocatalysts for Asymmetric Catalysis</li> </ul> <p>表彰式・受賞講演 ; 平成 29.2/16</p>   | 野依賞 委員会             |
| 支部表彰   |                     |
| <p>【関西支部】</p> <p>第 14 回関西支部賞受賞講演会 ; 11/21 ; 大阪科学技術センター</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <math>\sigma</math>-アリルパラジウム中間体形成を基軸とする革新的分子変換法の開発 (富山大院理工) 堀野良和</li> <li>2. 合成化学と生化学手法の相補的優位性を活かした新規バイオ触媒反応システムの開発 (奈良先端大) 松尾貴史</li> <li>3. 生理活性物質を指向した有機フッ素化合物の合成 (摂南大薬) 安藤 章</li> </ol> <p>共催 : 近畿化学協会</p>   | 58(1)               |
| <p>【中国・四国支部】</p> <p>有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」 ; 11/19 ; 広島大学(第 2 回幹事会・懇話会合同会議) ; 世話人 : 灰野岳晴</p> <p>【支部奨励賞受賞講演】</p> <p>塩メタセシス反応を用いた効率的触媒反応系の構築と機能性分子探索への応用 (徳島文理大薬) 山本博文</p> <p>【特別招待講演】</p> <p>キラルプレンステッド酸ならびに塩基の化学 : そのきっかけから最近の試みまで (東北大院理) 寺田真浩</p>  | 55(28)              |
| <p>【九州・山口支部】</p> <p>第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 ; 11/17 ; 九州大学伊都キャンパス ; 受賞講演等</p> <p>第 26 回万有福岡シンポジウム ; 4/23 ; 九州大学馬出キャンパス百年講堂 ; 支部ポスター賞 (2 名)</p>  | 120(98)             |

表 6・13 平成 28 年度事業報告 (その 13)

| 事業の名称および事業の概要  | 参加者数<br>担当機関   |
|--|----------------|
| 他 1・共益事業   |                |
| ゆうごう会  |                |
| 第 18 回ゆうごう会 ; 5/25 ; King of Kings(大阪市)<br>講演 1 件<br>日本、世界産業界の現状と放言御免 I & C・ケムテック) 谷口正俊  | 17(0)          |
| 第 19 回ゆうごう会 ; 6/22 ; 化学会館<br>講演 1 件<br>真実を知るのは簡単ではない ―フェロモン研究を中心に―<br>(東洋合成工業/日本学士院会員/東大名誉) 森 謙治   | 23(0)          |
| 第 20 回ゆうごう会 ; 11/4 ; 化学会館<br>講演 2 件<br>1.有機合成から食品科学への歩み ~β-glucan の今日的意義 (日本総合技術研究所) 東海林義和<br>2.有機合成徒然草：有機合成化学の歴史と役割を考える (東工大名誉) 中井 武  | 21(0)          |
| 研究企画賞  |                |
| 研究企画賞選考委員会 ; 11/24 ; 化学会館 ; 24 件採択   |                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旭化成ファーマ研究企画賞:杉本健士(富山大学)<br/>自在な官能基導入を実現する金オートタンデム触媒作用による 1,4-ジヒドロピリジンの de novo 合成</li> <li>● 味の素研究企画賞:浅原時泰(大阪大学)<br/>二官能基化 N-アシルイミンを用いたα-アミノ酸のユニバーサル不斉合成法の開発</li> <li>● ADEKA 研究企画賞:野田秀俊(微生物化学研究所)<br/>先駆的分子認識触媒の精密設計に基づくアミド結合切断反応の開発</li> <li>● カネカ研究企画賞:小林祐輔(京都大学)<br/>チオ尿素とハロゲン結合供与体による反応場構築を基盤としたアミドの直截的 N-グリコシル化反応の開発</li> <li>● コニカミルタ研究企画賞:臼井一晃(九州大学)<br/>結晶構造と機能に着目した蛍光性ヘリセン分子の設計と精密合成</li> <li>● 塩野義製薬研究企画賞:猪熊 翼(徳島大学)<br/>ペプチドへの直接的不斉マンニッヒ反応を基盤とする新規効率的な中分子合成法の開発</li> <li>● 昭和電工研究企画賞:岩本貴寛(京都大学)<br/>光反応を利用した革新的光学活性アミノ酸合成</li> <li>● セントラル硝子研究企画賞:荻原陽平(東京理科大学)<br/>炭素-フッ素共有結合のアルキンに対する触媒的付加反応への挑戦</li> <li>● 第一三共研究企画賞:齊藤竜男(東京大学)<br/>2 種の遷移金属触媒間の相互作用を利用したドミノ型分子変換反応の開発</li> <li>● 大正製薬研究企画賞:野口吉彦(北里大学)<br/>顧みられない熱帯病 ; アフリカ睡眠病制圧を目指した抗寄生虫活性を示す新規マクロライド類の合成と創薬研究</li> <li>● ダイセル研究企画賞:西内智彦(大阪大学)<br/>密接したアントラセン二量体の光と熱によるキラリ情報リライタブル材料の開発</li> <li>● 高砂香料工業研究企画賞:津留崎陽大(大阪府立大学)<br/>電子受容性ジホスフェン配位子の開発と高活性触媒的環化反応への展開</li> <li>● 田辺三菱製薬研究企画賞:武田紀彦(神戸薬科大学)<br/>N-アルコキシラクタムの潜在的求核性を利用した付加-環縮小反応の開発</li> <li>● 中外製薬研究企画賞:橋本 徹(横浜国立大学)<br/>不斉イオン対型鉄錯体の創製と不斉クロスカップリング反応の開発</li> <li>● 帝人ファーマ研究企画賞:落合秀紀(理化学研究所)<br/>Late-stage における多彩な誘導体化を指向したカルボン酸の形式的脱炭素ホウ素化反応の開発</li> <li>● 東ソー研究企画賞:石田直樹(京都大学)<br/>光エネルギーを駆動力とする二酸化炭素固定化反応</li> <li>● 東レ研究企画賞:江上寛通(静岡県立大学)<br/>アルキルアミン誘導体の選択的 C-H フッ素化反応の開発</li> <li>● 日産化学工業研究企画賞:中村貴志(筑波大学)<br/>剛直な環状骨格を有する多重修飾シクロデキストリンの合成と分子認識場の創出</li> </ul> | 研究企画賞<br>選考委員会 |

表 6・14 平成 28 年度事業報告 (その 14)

| 事業の名称および事業の概要   | 担当機関                   |
|---|------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本触媒研究企画賞:戸田泰徳(信州大学)<br/>新規イオン性求核触媒としてのホスホニウムベタインの設計開発</li> <li>● 富士フイルム研究企画賞:堀部貴大(名古屋大学)<br/>エナンチオ選択的ラジカルカチオン Diels-Alder 反応及び[2+2]環化反応の開発</li> <li>● 三井化学研究企画賞:西本能弘(大阪大学)<br/>芳香環-金属間の拡張空軌道に基づく革新的アルミニウム触媒の合成と不活性 C-O 結合開裂反応の開発</li> <li>● 三菱化学研究企画賞:松本健司(徳島文理大学)<br/>不均一系酸素酸化による触媒的芳香環直接官能基化反応の開発と応用</li> <li>● Meiji Seika ファルマ研究企画賞:清川謙介(大阪大学)<br/>ホウ素化合物を用いる位置および立体選択的シアノ化反応の開発</li> <li>● 和光純薬工業研究企画賞:廣戸 聡(名古屋大学)<br/>窒素ドーブラフエンナリボンの精密合成法の開発</li> </ul> | <p>研究企画賞<br/>選考委員会</p> |
| 法人運営関連会議  |                        |
| 本部関連  |                        |
| 第 79 回通常総会(定期社員総会 ; 2/18)   |                        |
| 運営委員会・理事会(1/29, 2/18,4/14, 6/17, 9/16, 12/12)   |                        |
| 財務・予算委員会(9/16) ; 第一分科会(事業)・第二分科会(表彰) (4/14, 6/17, 9/16, 12/12,1/27)   |                        |
| 平成 29 年度役員候補者選出委員会(10/21)   |                        |
| 支部関連 【北海道支部】  |                        |
| 第 33 回有機合成化学セミナー 第 2 回実行委員会 ; 4/28 ; 北海道大学  |                        |
| 1. 実行委員の選出について ; 2. プログラムについて ; 3. 各会場の確認について ; 4. 予算案について ; 5. プレセミナー企画について ; 6. 参加者勧誘について ; 7. 実行委員会の役割分担について ; 8. 今後の計画について  |                        |
| 第 33 回有機合成化学セミナー 第 3 回実行委員会 ; 7/2 ; 北海道大学   |                        |
| 1. 参加者登録状況と今後の勧誘について ; 2. 予算案について ; 3. 実行委員の役割について ; 4. プログラムと座長について ; 5. チャーターバスとプレセミナーについて ; 6. 学生アルバイトについて ; 7. 今後の計画について  |                        |
| 支部役員会 ; 11/29 ; 北海道大学   |                        |
| 1. 支部規定の制定について ; 2. 奨励賞の支部推薦制度の変更について ; 3. 今後の役員会の開催方法について ; 4. 有機合成化学セミナーの報告 ; 5. 平成 28 年度支部の活動と予算の執行状況について ; 6. 第 111 回有機合成シンポジウム(岡山開催)の開催について  |                        |
| 支部関連 【関東支部】   |                        |
| 常任幹事会(4/15,7/13,10/14,12/21)  |                        |
| 支部幹事会(4/15,10/14)   |                        |
| 談話会(湯河原セミナー)企画委員会 ; 3/18 ; 化学会館   |                        |
| 支部奨励賞推薦委員会 ; 7/13 ; 化学会館  |                        |
| 新潟シンポジウム世話人会・新潟地区幹事会合同会議 ; 11/26  |                        |
| 支部関連 【九州・山口支部】  |                        |
| 事務引継会 ; H27.12/1 ; 九州大学伊都キャンパス(参加者 : H27/28 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)  |                        |
| 支部各賞選考委員会 ; 4/22 ; 九州大学馬出キャンパスコラボステーション   |                        |
| 奨励賞・優秀論文賞・技術賞候補者によるプレゼンテーションのヒアリング ; 支部各賞選考委員(7 名)  |                        |
| 第 1 回幹事会 ; 4/22 ; 九州大学馬出キャンパスコラボステーション  |                        |
| 議題 : 平成 27 年度事業・決算報告 ; 平成 28 年度事業計画・予算案他  |                        |
| 第 2 回幹事会 ; 11/17 ; 九州大学伊都キャンパス  |                        |
| 議題 : 平成 28 年度中間事業・会計報告 ; 平成 29 年度事業計画・予算案他 ; 担当 : 谷文都(九大先導研)  |                        |

業報告附属明細書

平成 28 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。